

第 2 3 5 号

連 携 室 だ よ り



公益財団法人
北海道医療団

帯広第一病院



帯広第一病院理念・基本方針

【理 念】

地域に信頼される病院を目指し、質の高い、思いやりのある医療サービスを提供する。

【基 本 方 針】

- 1 患者の皆様の安全と権利を守ります。
- 2 地域医療機関との連携を推進します。
- 3 救急医療の充実に努めます。
- 4 研修や教育を積極的に行います。
- 5 働きがいのある職場を作ります。



消防症例検討会の様子

今号の内容

- ・ 消防症例検討会開催報告 医事課長 安田 貴薫
介護老人保健施設とかち 熱中症予防でオリジナル栄養水を無料提供 支援相談室長 山形 弘一 . . . (2)
- ・ 令和6年度健康管理センター実績報告 健康管理センター主任 田中 美陽子 . . . (3)
- ・ Pink Ribbon Campaign 2025 開催ご案内 健康管理センター 保健師 守屋 優子 . . . (4)

消防症例検討会開催報告

医事課長 安田 貴薫

令和7年8月22日(金)17時から、令和7年度第三回症例検討会（とまち広域消防）を開催しました。昨年同様ハイブリット形式の開催に150名が参加され、多くの参加で活気のある会を執り行うことができました。

症例検討会では、当院に搬送された事例をもとに消防隊員から経過報告、対応時の問題提起、質疑があり、当院医師は病院搬送後の経緯説明や質疑に丁寧な回答をされていました。現場到着後の対応や病院搬送までの連携について、振り返りや再確認に大変有意義であったと感じております。

収容者の状態や経過時間で状況が変化中、判断に悩むケースが多いことがわかりました。担当医師からの「なにかあればすぐ相談を」の一言がとても頼もしく、メディカルコントロールの重要性を再認識することができました。

最後に、井伊院長、土屋救急センター長から、救急隊員へ日ごろの感謝を述べられ、より連携しやすい環境づくりと情報共有、協力体制強化をと総括いただきました。

今後も、十勝の救急体制の発展に連携を深めて参ります。



介護老人保健施設とかち 熱中症予防でオリジナル栄養水を無料提供

支援相談室長 山形 弘一

介護老人保健施設とかちデイケア（通所リハビリテーション）では、令和7年7月よりご利用者の熱中症対策として、オリジナルの栄養水を無料提供しています。オリジナル栄養水は、厚生労働省や日本気象協会などが、経口補水液の代わりとして紹介している飲用水を基に当施設の管理栄養士がアレンジしたものです。栄養価を変えることなく飲みやすさや彩りを改良し、味はあまおう、シャインマスカット、梅はちみつ、レモンの4種類をご用意しています。不足しがちな水分とエネルギーを効率よく補給でき、更に美味しさや見た目の鮮やかさも相まって、ご利用者から大変好評を頂いています。またご自宅での脱水リスクが特に高いと思われるご利用者に対しては、家庭向けの簡単なレシピも提供しています。在宅で生活されている高齢者は、施設入所者や入院患者に比べ脱水や低栄養に陥りやすく、身体機能低下や病状悪化の大きな要因の一つにもなっています。在宅継続の支援を運営理念の一つに掲げている当施設として、今回のような取り組みは大変重要であり、今後も継続的に取り組んでいきたいと考えています。



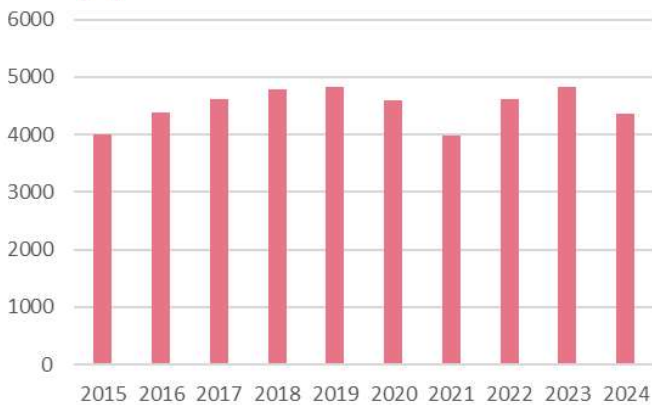
令和6年度健康管理センター実績報告

健康管理センター主任 田中 美陽子

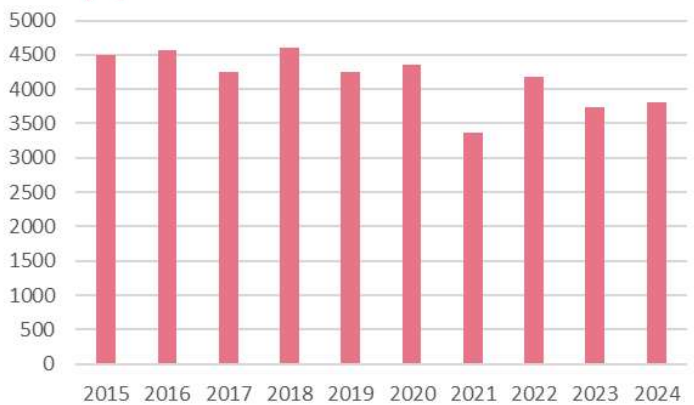
地域の皆様にはいつも大変お世話になっております。

2024年度の実績報告をさせていただきます。おかげさまで人間ドックは2024年度も4000名以上の方に利用して頂きました。また、乳がん検診や子宮がん検診、胃カメラなど各種オプション検査も引き続きたくさんの方に受けて頂いております。センターでは引き続き地域の皆様が受けやすい健康管理センターでありますよう、引き続き精進していききたいと思います。またスタッフ一同心よりお待ちしております。

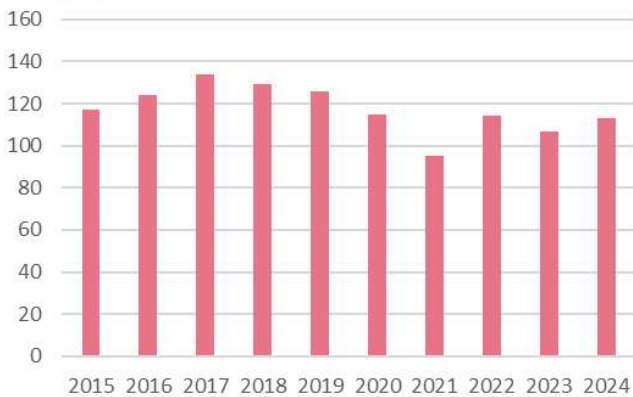
1. 人間ドック受診者数：4356名



2. 健康診断受診者数：3809名



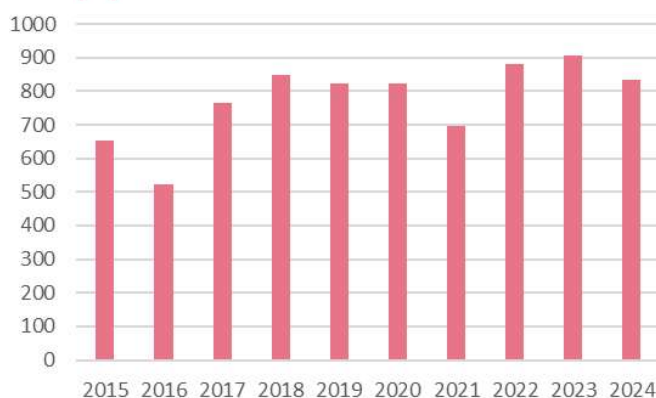
3. 脳ドック受診者数：113名



4. 乳がん検診受診者数：1409名



5. 子宮がん検診受診者数：835名



6. 胃カメラ受診者数：3358名



Pink Ribbon Campaign 2025 開催ご案内

健康管理センター 保健師 守屋 優子



地域の先生方、各市町村保健師の方々には、平素より大変お世話になっております。

当院のピンクリボンキャンペーンは2009年より始まり、今年で17年目を迎えることができました。一生涯に乳がんを患う日本人女性は、9人に1人（国立研究開発法人国立がん研究センター2019年データに基づく）と言われています。乳がんで亡くなる日本人女性は年間約1万6千人であり、日本人女性の30～64歳では、乳がんが死亡原因のトップとなっています。しかし、乳がんは早い段階から自分で発見することが可能であり、早期発見ができれば、がんの中では治る率が高いがんに入っています。そのため、自己検診の実践と定期的な検診を受けて、早期発見の機会を失わないようにすることが重要です。

毎年10月のピンクリボン月間にあわせ、当院においてもキャンペーンを開催し、地域の皆様の健康にお役立ていただけるよう、ご案内申し上げます。

キャンペーンの概要

～受診しやすい環境を提供いたします～

開催日 10月1日（水）～10月31日（金） 平日

※期間中は、平日の乳がん検診予約枠や乳がん検診実施時間を、拡充いたします。

●金曜夜間 乳がん検診の実施

開催日時 10月3日（金） 17:00～19:00

※定員になり次第、予約受付を締め切らせていただきます。

●日曜 乳がん検診の実施

開催日時 10月5日（日） 8:30～12:30

※定員になり次第、予約受付を締め切らせていただきます。

料 金 マンモグラフィ検査1方向・・・・・・・・税込 3,600円

マンモグラフィ検査2方向・・・・・・・・税込 5,100円

乳腺超音波検査・・・・・・・・税込 3,600円

※乳がん検診のクーポン券、各種助成制度利用の場合など、料金の詳細はお電話にてお問い合わせ下さい。



◇ 乳がん検診は、事前予約が必要です。各日定員になり次第、予約受付を締め切らせていただきますので、お早めにお問い合わせ、ご予約下さい。

◇ 乳がん検診の問診や検査は女性が対応させていただいております。検査に関して心配な事などがありましたらお気軽にお声掛けください。

お申込・お問い合わせ先 帯広第一病院 健康推進室 TEL 0155-25-3121
(受付時間 9:30～16:30 土日祝日除く)

発行 公益財団法人北海道医療団 帯広第一病院 地域医療介護連携科

〒080-0014 帯広市西4条南15丁目17番地3

TEL 0155-25-3121（病院代表） / 0120-558-091（連携科直通）

FAX 0155-27-0248（連携科専用） e-mail renkei@zhi.or.jp

